

◆今期間のポイント

<主要じょう乱の概要>

- 8日から10日かけて、発達した低気圧がオホーツク海を北上する。
- 9日から10日にかけて、別の低気圧が日本の東へ進み、大陸の高気圧が日本付近に移動する。
- 11日から12日にかけて、高気圧は日本の東へ移動し、中国東北区の高気圧が朝鮮半島付近に南下する。

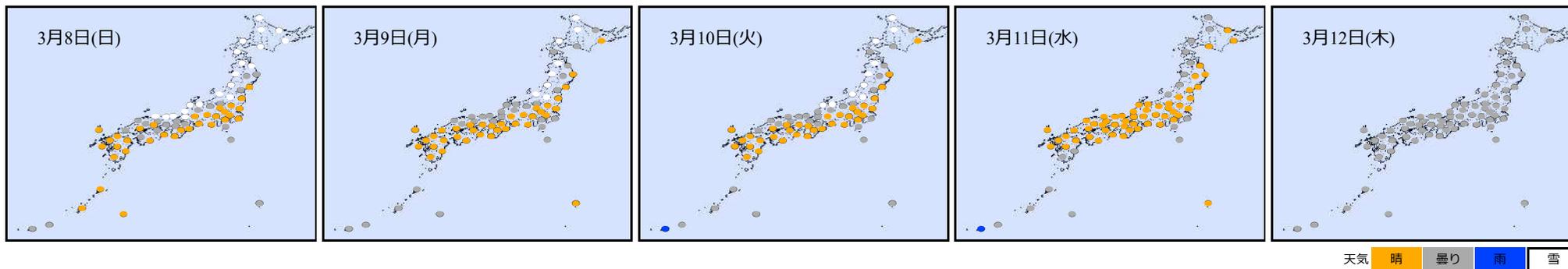
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 8日にかけて、発達する低気圧の影響で北日本では荒れた天気となり、低気圧の発達程度等によっては大荒れや大しけとなるおそれがある。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

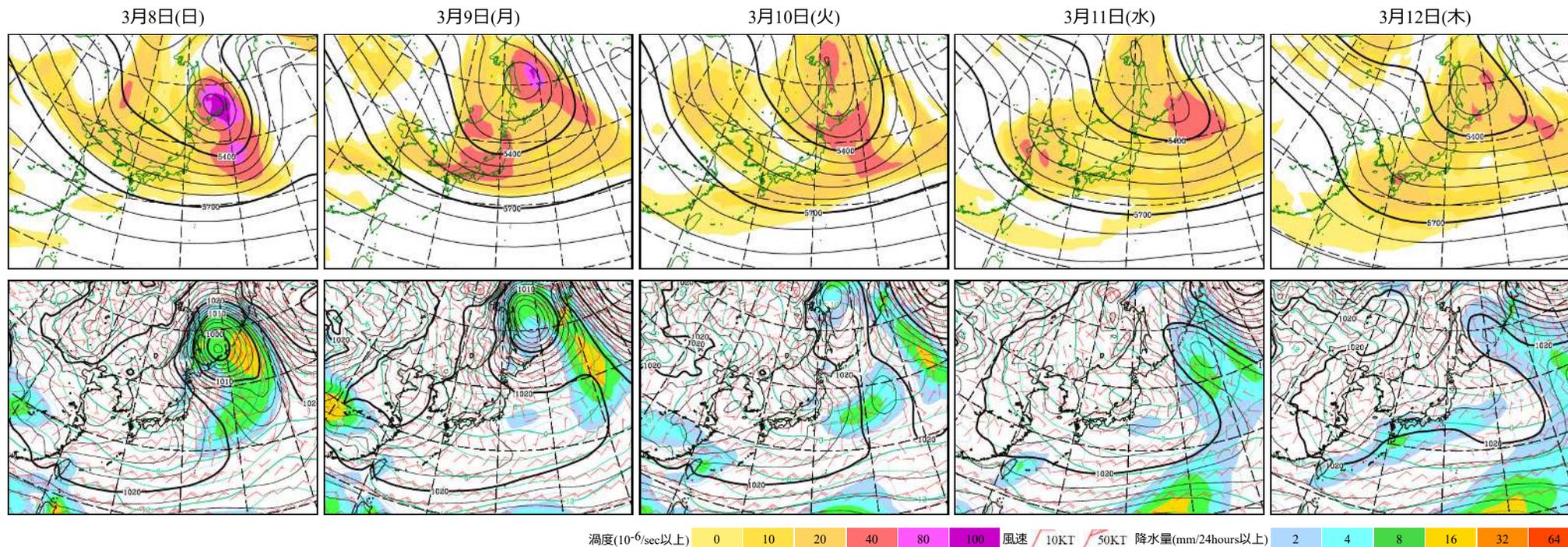
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

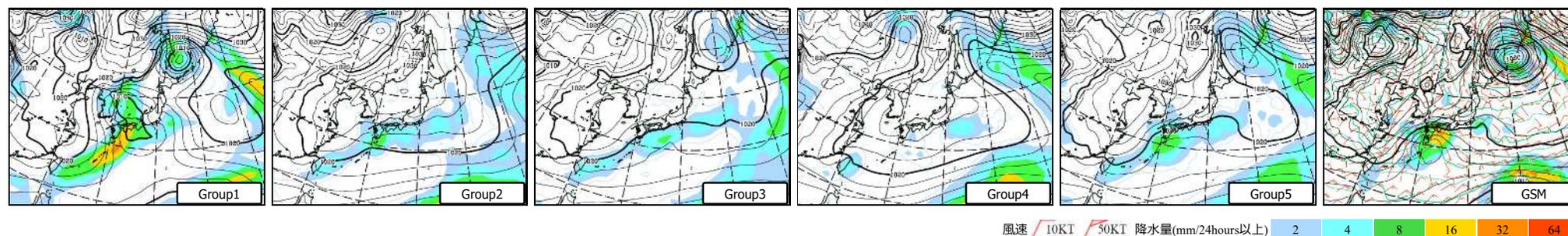


- 北日本と東日本から西日本にかけての日本海側は、晴れる所もあるが雲が広がりやすく、8日から10日は雪または雨の降る所がある。
- 東日本から西日本にかけての太平洋側は、晴れまたは曇りの日が多い。
- 沖縄・奄美は、雲が広がりやすく、10日と11日は雨の降る所がある。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆3月12日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、大きな初期値変わりはない。11日から12日にかけて東シナ海に進むトラフがやや深くなった。
- 9日から10日にかけて日本付近を通過するトラフの予想が初期値変わりしたモデルもあるが、昨日資料と比べてモデル間の差は小さくなった。12日の日本付近の気圧配置については、モデル間の差が大きくなっている。
- 12日は、GSMのみ西日本南岸に低気圧を予想する。ENSには南岸に低気圧を予想するメンバーもあるが、位置にバラツキがあり、不確実性が大きくなっている。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。